

平和首長会議加盟自治体の皆様

平素より平和首長会議の活動にご支援・ご協力いただき、心より感謝申し上げます。
平和首長会議の近況をお知らせします。

<<今号の内容>>

- ◆NPT再検討会議の開催を前に広島・長崎両市長による外務大臣への要請[3月23日]
- ◆広島・長崎両市が核兵器の使用を巡るロシアの一連の言動を受け抗議
- ◆8人の被爆者がインド、欧州、南北アメリカの加盟都市に向け出航
- ◆イル・ド・フランス地域圏（パリを中心とする地域）が平和施策を強化
- ◆フランス平和首長会議代表がフランス大統領顧問と会見
- ◆「メジエールとマンチェスター」英仏の友好に関する展示
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]
- ◆加盟都市の活動紹介（マラコフ市（フランス））
- ◆被爆樹木の苗木の配付事業及び「平和の灯」の分火事業のご案内
- ◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！
- ◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！
- ◆3月の平和首長会議会長訪問
- ◆平和首長会議加盟自治体数：160か国・地域 6,649都市

~~*~*~*~*~*~*

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

ホームページ：<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>「いいね！」をお待ちしています。

~~*~*~*~*~*~*

=====
◆NPT再検討会議の開催を前に広島・長崎両市長による外務大臣への要請
[3月23日]

=====
3月23日、広島・長崎両市長は岸田外務大臣に対し、今月下旬から開催される核不拡散条約（NPT）再検討会議において、（1）最終文書を採択し、「核兵器のない世界」に向けた道筋をつけることができるよう最大限の努力を尽くすこと、（2）これまでの「核兵器の人的影響に関する国際会議」での議論や成果を十分活用するとともに、これらを踏まえたオーストリア政府の文書に賛同し、核兵器の禁止及び廃棄に向けた法的な不備を埋めるために、これまで以上に力強いリーダーシップを発揮すること、（3）広島市・長崎市と協力し、両市が主催するサイドイベントや被爆者の方々が行う被爆者証言の機会等を通じ、被爆の実相を国際社会に発信すること、を要請しました。

▼関連記事(広島市ウェブサイト)

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1427108478268/index.html>

▼関連記事（長崎市の平和・原爆 Facebook）

https://www.facebook.com/permalink.php?story_fbid=801533159900959&id=462106243843654

=====

◆広島・長崎両市が核兵器の使用を巡るロシアの一連の言動を受け抗議

=====

ロシアのプーチン大統領が核兵器使用を準備していたと発言したこと等に対し、4月3日に広島市長がロシア政府及び駐日大使館に抗議文を送付しました。

これに対し、駐日ロシア大使から反論する4月9日付けの返書が届くとともに、14日、同大使が広島を訪れ、広島市長に同国の立場を説明しました。

同様に、長崎市長及び長崎市議会議長も4月3日に抗議文を送付し、駐日ロシア大使から反論する4月10日付けの返書が届きました。

▼抗議文

(広島市ウェブサイト) :

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1427972212367/index.html>

(長崎市ウェブサイト) :

http://nagasakipeace.jp/japanese/abolish/protest/kogi_list/75.htm

=====

◆8人の被爆者がインド、欧州、南北アメリカの加盟都市に向け出航

=====

広島・長崎での被爆時に幼少だった8人の被爆者が、平和首長会議 2020 ビジョンキャンペーンと NGO ピースボートの共同プロジェクト「I was her age! 過去と今の対話」に参加し、4月12日、横浜港を出港しました。世界の加盟都市十数都市が、寄港時に被爆者を迎えます。寄港先で、被爆者と地元の親子たちが出会い、「(被爆したとき) ちょうどお子さんと同じくらいの年齢でしたよ」というメッセージを伝えます。核の脅威から子供たちを積極的に守るために、若い親子たちだけでなくあらゆる年代の人々を啓発し、世界中のより多くの個人や団体が被爆 70 周年を記念して行動することを目指しています。最初の寄港地は4月27日、インドのコーチ市で、市長をはじめ、市民団体が歓迎の準備を進めています。

▼プロジェクトの詳細 (2020 ビジョンキャンペーンウェブサイト、英語)

<http://www.2020visioncampaign.org/en/i-was-her-age>

=====

◆イル・ド・フランス地域圏 (パリを中心とする地域) が平和施策を強化

=====

2月12日、イル・ド・フランス地域圏 (パリを中心とする地域) 議長は、地域圏議会本会議におけるエディール・アイト議員の質問に対する答弁において、地域圏の平和施策を強化すると述べました。ジャン・ポール・ユション議長は、「平和や平和文化を推進することはナイーブではなく、絶対に必要なものだ」と述べ、フランス平和首長会議加盟都市であるキャリエール・ス・ポワシー市の元市長であるアイト議員の主導により、平和のための地域圏行動計画の策定に向けて尽力すると発表しました。この作業は、フランス平和首長会議と緊密な協力のもとで実施されます。この事業プログラムの一環として、イル・ド・フランス地域圏は平和首長会議への加盟を正式に検討しています。

▼記事全文 (フランス平和首長会議 AFCD RP ウェブサイト、フランス語)

<http://afcd rp.com/la-region-ile-de-france-sengage-pour-une-culture-de-la-paix/>

=====

◆フランス平和首長会議代表がフランス大統領顧問と会見

=====

1月7日及び9日にパリで起こったテロ事件と、同11日の大規模デモを受けて、フランス社会が今日の課題に対処するために新たな答えが必要とされています。その答えのひとつが、ユネスコが定義し、フランス平和首長会議が推進している「平和文化」です。

3月5日、フランス平和首長会議代表団は、フランス大統領顧問であるベルナール・ポイニャント氏と会見し、教育プログラム及び地方行政において平和文化を推進するための方策について意見を交わしました。フランス平和首長会議がこの問題について特に意見を求められたのは初めてのことです。

フランス平和首長会議会長であるグリニー市のフィリップ・リオ市長をはじめとする代表団は、提言リストをポイニャント氏に提出しました。また、これらの提言の実施に関するフォローアップ会合が開催される予定です。

=====

◆「メジエールとマンチェスター」英仏の友好に関する展示

[マンチェスター市（英国）、4月13日～5月30日]

=====

1920年、第一次大戦後にフランスのメジエール町（現在のシャルルヴィル・メジエール市）の復興をマンチェスター市（英国）が支援した歴史をテーマとした展示が、マンチェスター中央図書館で4月13日から5月30日まで開催中です。シャルルヴィル・メジエールにおける戦災の状況や、両市の友情の物語が展示されており、4月13日にマンチェスター市長及びシャルルヴィル・メジエール市長が臨席のもと、公式にオープンしました。

▼詳細情報（マンチェスター市ウェブサイト、英語）

http://www.manchester.gov.uk/news/article/7160/central_library_exhibition_to_celebrate_the_link_between_manchester_and_mezieres

▼展示の詳細（英語）

<http://www.librarylive.co.uk/event/mezieres-manchester-exhibition>

=====

◆ヒロシマ発平和関連ニュース（連載第6回）

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

=====

被爆地広島シンボル原爆ドームが4月5日、誕生からちょうど100年を迎えました。ドームが発信している核兵器廃絶と世界平和の訴えは、着実に若者にも受け継がれています。例えば、軍縮・不拡散について、核兵器保有国の米国、ロシアと日本の高校生が意見を発表する国際会議が広島で開かれました。二つの被爆地を巡り、芸術で平和を表現するワークショップで、日米の若者たちは、立体作品、絵など約30点の作品を制作。欧州スタディーツアーに参加した広島の大学生・高校生8人は、ホロコースト（ユダヤ人大虐殺）の悲劇に真剣に向き合いました。被爆・戦後70年の節目、核兵器も戦争もない世界を願う若者ならではの熱意を感じさせてくれるニュースが目立っています。

関連記事は次のアドレスで読めます。

○原爆ドーム「100歳」 広島

ニュース <http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=42725>

特集面 <http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=42727>

○平和 願いをアートに 日米の若者 広島で展示

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=42759>

広島での活動開始 <http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=42611>

○日米露の高校生 核軍縮語り合う 広島女学院で始まる

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=42670>

国際会議閉幕 <http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=42776>

○ホロコーストを学ぶスタディーツアー関連

・出発 <http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=42234>

・アウシュビッツ見学 <http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=42276>

・現地の若者との意見交換 <http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=42360>

- ・アンネの隠れ家見学 <http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=42436>
 - ・高校生による報告 <http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=42813>
- (ヒロシマ平和メディアセンター提供)

=====

◆加盟都市の活動紹介

=====

*マラコフ市（フランス）

被爆 70 周年記念事業推進チラシを作成

フランス平和首長会議（AFCD RP、事務局：マラコフ市）は、フランス国内の加盟自治体で、被爆 70 周年記念事業を推進するためのチラシを作成しました。

▼チラシデータ（平和首長会議ウェブサイト、フランス語）

http://www.mayorsforpeace.org/english/activities/memberscity/2015/AFCD RP/70HN_web.pdf

▼関連記事(フランス平和首長会議ウェブサイト、フランス語)

<http://afcd rp.com/hiroshima-nagasaki-70/>

▼加盟都市の活動（平和首長会議ウェブサイト）

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/memberscity/index.html>

<<貴自治体の平和活動の情報をお知らせください>>

平和首長会議ホームページの「加盟都市の活動」コーナーに掲載する情報をお待ちしています。

貴自治体における平和に関する様々な事業の情報をぜひお知らせください。

貴自治体のホームページにリンクする形でご紹介しますので、記事のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにご連絡ください。

▼Eメール: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

=====

◆被爆樹木の苗木の配付事業及び「平和の灯」の分火事業のご案内

=====

平和首長会議では、平成 25 年 8 月の第 8 回平和市長会議総会において策定された行動計画の具体的取組である被爆樹木の苗木の配付事業及び「平和の灯」の分火事業を、昨年度から開始しました。

3 月 1 日から 31 日までに、国内では、亀岡市（京都府）及び熊取町（大阪府）にアオギリを、秦野市（神奈川県）、寒川町（神奈川県）、山ノ内町（長野県）及び野々市市（石川県）にアオギリとクスノキを配付しました。

被爆樹木の苗木又は「平和の灯」の受け入れを希望される場合、所定の申請書を E メール又は FAX にて事務局までお送りください。

※被爆樹木の苗木には、配付本数に限りがあるため、万一不足することになった場合には翌年度以降の送付となりますので、あらかじめご了承ください。

※両事業は、通年でやっているため特に申請期限はありません。また、来年度以降も継続して実施しますので、来年度以降の受け入れについても、是非ご検討いただければ幸いです。

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

▼FAX: 082-242-7452

=====

◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！

=====

平和首長会議では、加盟都市の 5000 突破を契機として、平和首長会議原爆ポスター展に国内外の加盟都市を挙げて取り組んでいます。

現在までに新宿区（東京都）や堺市（大阪府）、ロンドン市（イギリス）、ボルゴグラード市（ロシア）、カブール市（アフガニスタン）など、250 を超える都市がポスター展を開催しています。

引き続き、ポスター展の開催にご協力ください。

※ポスター概要：標準サイズ A2 版、18 枚

▼ポスター展の詳細及びポスターのダウンロード：

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/projects/poster/index.html>

=====

◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！

=====

2020 年までの核兵器廃絶を実現するために最も効果的な方法は、世界のすべての国が「核兵器禁止条約」を締結することです。「核兵器禁止条約」とは、核兵器の製造、保有、使用等を全面的に禁止する条約です。

その早期実現を目指し、2011 年 11 月の理事会及び 2012 年 1 月の国内加盟都市会議において、条約の交渉開始等を求める市民署名活動を加盟都市を挙げて展開することが決定されました。署名活動は 2013 年 8 月の第 8 回総会で決定した行動計画にも掲げられています。

皆様のご協力により、2015 年 4 月 1 日現在、1,605,640 筆の署名が集まっています。

今後とも、全加盟都市を挙げて積極的に署名活動を展開しましょう。

（署名はインターネットからも可能です。）

▼署名用紙（PDF）

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/01_monthly Updating/11_petitionform_jp.pdf

▼オンライン署名

<https://www.ssl-z.city.hiroshima.jp/pcf/jp/form.htm>

▼関連情報：広島市の市民署名活動の展開

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/00000000000000/1333414321137/index.html>

=====

◆3 月の平和首長会議会長訪問

=====

松井一實広島市長・平和首長会議会長は、3 月に次のような海外からの来訪者の表敬訪問を受けました。その際に平和首長会議の取組及び加盟要請への協力をお願いしました。

*3 月 6 日（金） シャンカル・ダス・バイラギ ネパール連邦民主共和国外務次官

▼関連情報：広島市/日々の動静—2015 年 3 月

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1425284218843/index.html>

=====

◆平和首長会議加盟都市数：160 か国・地域 6,649 自治体

=====

皆様のご理解とご協力により、今月 66 自治体が新たに加盟し、平和首長会議の加盟都市数は 4 月 1 日現在で 6,649 自治体（160 か国・地域）となりました。

日本国内では、愛知県一宮市等 16 自治体（3 市 10 町 3 村）が加盟し、国内加盟都市数は 1,559 自治体（加盟率 89.5%）となりました。

海外については、テヘラン平和博物館の呼び掛けにより、イランの 43 自治体が新たに加盟し、同国の

加盟都市数が 628 自治体となりました。この他、ドイツから 4 自治体、韓国、セネガル、アルゼンチンからそれぞれ 1 自治体が加盟しました。

引き続き近隣未加盟自治体や姉妹都市への働き掛けなど皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

▼4 月 1 日付新規加盟都市一覧

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/2015/newmembers1504_jp.pdf

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>

*** 本メールニュースに関するご意見、お問合せ、
連絡先変更等は下記までご連絡ください***

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町 1-5

(公財) 広島平和文化センター 国際部 平和連帯推進課

TEL:082-242-7821 FAX:082-242-7452

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp